

プログラム



第47回 鳥類内分泌研究会

The 47th Annual Meeting of Japanese Avian Endocrinology

2023年12月1日-2日
名古屋大学生命農学研究科

共催 NBRPニワトリ・ウズラ

第 47 回鳥類内分泌研究会
2023 年 12 月 1 日（金）～2 日（土）
名古屋大学農学部 講義棟

● 2023 年 12 月 1 日（金）【特別講演・懇親会】

16:45～ 受付

17:00～18:00 特別講演（ハイブリッド）

会場 名古屋大学農学部（講義棟）第 8 講義室

吉村 崇 先生

（名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所・大学院生命農学研究科）

「ユニークな動物から明らかになった驚きの季節適応戦略」

=====

【特別講演要旨】 厳しい季節の変化に適応するために、繁殖活動、渡り、冬眠など、動物の様々な営みには明瞭な季節の変化がありますが、その仕組みはアリストテレス以来、2300 年来の謎でした。マウスやショウジョウバエに代表されるモデル動物は季節応答が不明瞭なため、顕著な季節応答を示すウズラやハムスター、サクラマスなどを使って、動物が春を感じる仕組みを明らかにしてきました。実は私たちヒトにおいても代謝、免疫機能、気分などが季節によって変化し、冬になると心疾患、インフルエンザ、精神疾患などが重症化するとともに、死亡率が顕著に上昇します。メダカやアカゲザルをモデルとした最近の研究から私たちの身体の季節変化の分子基盤が見えてきました。この講演では未発表の最新の成果も含めて紹介します。

=====

18:30～20:00 懇親会（オンサイト）

会場 グランピアット山手通店（名古屋市昭和区山手通 1-24）

<https://granpiatto.gorp.jp>

会費 3,500 円（懇親会場で徴収；おつりのいらぬようご協力ください）

● 2023 年 12 月 2 日（土）【一般講演・昼食会】

会場 名古屋大学農学部（講義棟）第 3 講義室（オンサイト）

★プログラム

9:30～ 受付（お弁当代 1,000 円と学生以外の参加費 1,000 円を徴収）

ポスター貼り付け

9:55～ 開会の挨拶・事務連絡

10:00～12:00 口頭発表+ポスター（奇数番）

12:00～ 昼食会（お弁当）・研究室紹介・懇談

13:30～15:40 口頭発表+ポスター（偶数番）

（15:20 若手研究奨励賞投票〆切）



15:40～16:00 休憩，ポスター撤去

16:00～16:30 若手研究奨励賞授与，世話人代表挨拶，次開催地挨拶，閉会

★発表形式

1) 学生：10分以内の口頭発表+ポスター貼り付け場所での質疑応答

学生の発表は若手研究奨励賞の審査対象となります

2) 学生以外：1分間ポスター紹介+ポスター発表

学生：スライドを使用した10分以内の口頭発表（質疑応答なし）とポスター貼り付け場所に資料を提示しての質疑応答です。資料は口頭発表のスライドを印刷したのもでも結構です。貼り付け場所には最大A0サイズのポスターを掲示できます。

学生以外：1分間のポスター紹介（なるべくスライドを1枚ご用意ください）とポスター（最大A0サイズ）発表です。

同一研究グループ内で、口頭発表の順番を当日入れ替えても構いません（演題番号は変わりません）。

★スライド提出方法

発表は会場のPC（Windows）を各自で操作していただきます。

スライドは下記サイトに**発表当日 8:30 まで**にアップロードしてください。

アップロード用サイト： URL：<https://forms.gle/a5cVRqhaHxdLRgAr9>

学生：10分以内の発表用のスライド

学生以外：1分間ポスター紹介用のスライド1枚（必須ではありません）

ファイル名：「演題番号+発表者氏名」例：21 桜桃子.pptx

形式：「フォント埋め込みパワーポイントファイル」で作成してください。動画・音声はパワーポイント内に埋め込んでください。念のため、ファイル類はUSBメモリでもご持参ください。

スピーカーの使用希望など、発表に際しての特記事項は下記サイトからお知らせください。

特記事項連絡用サイト（11/30〆切）：<https://forms.gle/1SiNw6PYeTm6vF7f7>

★ 昼食会（研究室紹介）

鳥類内分分泌研究会恒例の「研究室紹介」は12月2日（土）に昼食をとりながら行います。お弁当を注文した方は受付でお受け取りください。

★ インターネット接続

名古屋大学の無線LANに接続できます。ご利用の方は受付でお申し出ください。

★ 名札（ホルダーのみ会場に用意あり）

名刺（または所属・氏名を記入した名刺サイズの紙）をご持参ください。

★ 交通アクセス

① JR名古屋駅から地下鉄東山線で東山公園（20分）下車，農学部まで徒歩15分

② JR名古屋駅から東海道線・中央線で金山駅（5分）下車，地下鉄名城線（左回り）に乗り換え，名古屋大学（25分）下車，農学部まで徒歩10分

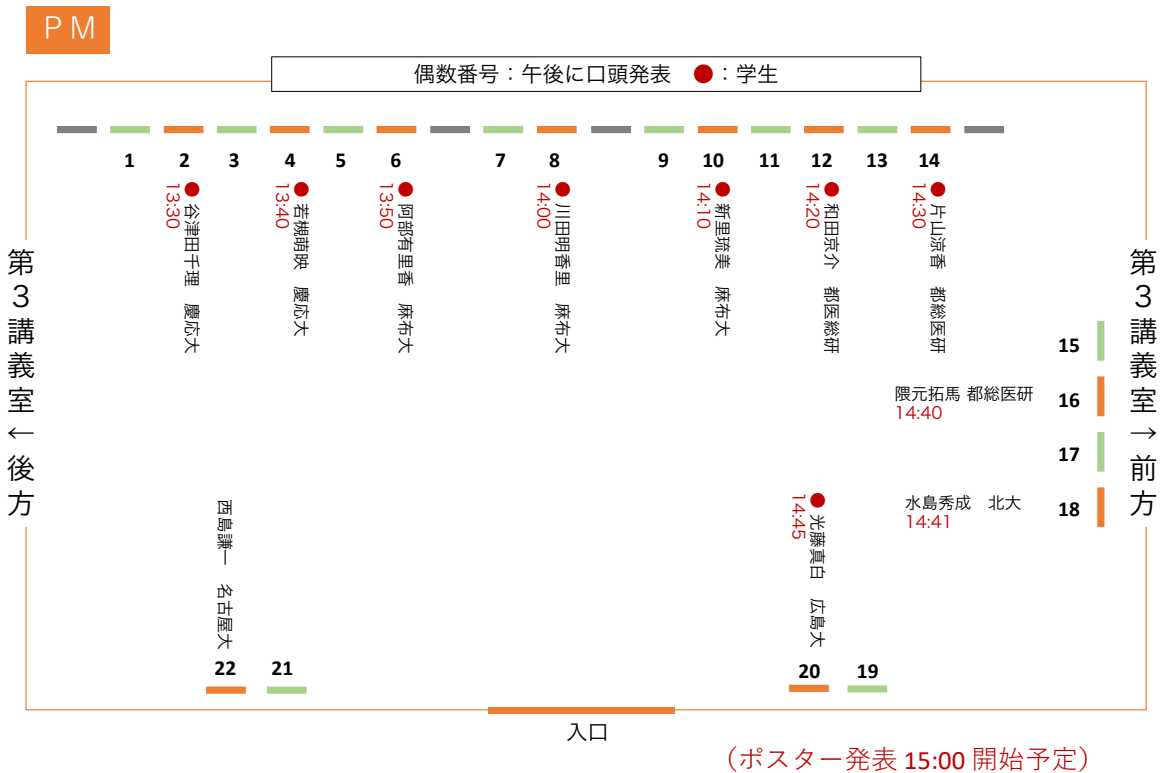
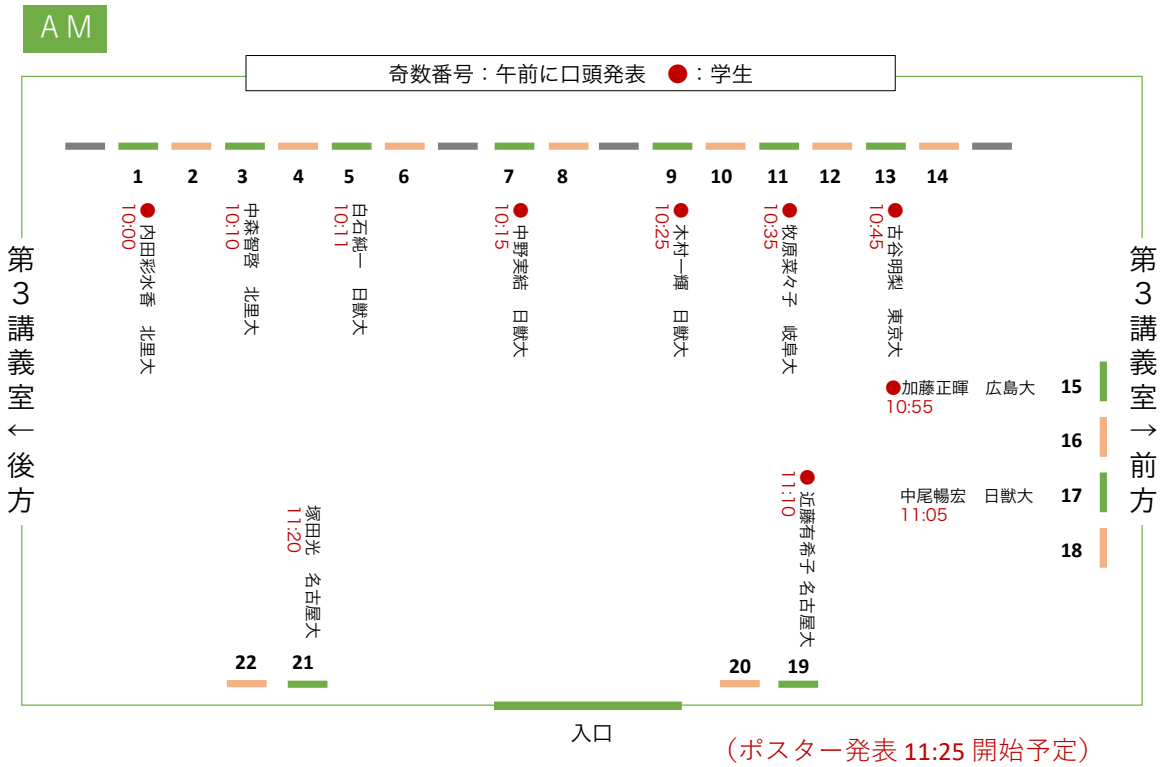
アクセス：<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~avianbio/access.html>

キャンパスマップ：<https://www.nagoya-u.ac.jp/contact/map.html>



ポスター貼り付け場所 (当日変更することがあります)

*時刻は口頭発表の開始予定時刻です
(当日の進行状況により大幅に前後することがあります)



(● = 若手研究奨励賞選考対象)

1

● 内田彩水香・中森智啓・浜崎浩子
北里大学・一般教育・生物

刷込み行動の個体差を決めている遺伝子の探索

3

○ 中森智啓・岩田羽未・小松澤和泉・牧田愛美・浜崎浩子
北里大学・一般教育・生物

オステオクリンは神経突起の分枝を抑制し、刷込み記憶を長期化させる。

5

○ 白石純一 1・柴野美子 1・石川晴菜 1・中尾暢宏 1・戸張靖子 2・太田能之 1
1 日獣大・動物科学科
2 麻布大・動物応用科学科

鳥類の飼育環境条件における UVB 照射が及ぼす栄養素代謝の効果

7

● 中野実結・大澤英輝・太田能之・白石純一
日獣大・動物科学科

ニワトリ・ニホンウズラの脳原基移植技術を用いた脳末梢のエネルギー代謝調節機構に関する研究

9

● 木村一輝・太田能之・白石純一
日獣大院・応用生命

高速液体クロマトグラフタンデム型質量分析計を用いたブロイラーヒナの栄養状態と骨格筋のエネルギー代謝調節の関連解析

11

● 牧原菜々子・岩澤淳
岐阜大・自然科学技術・応用動物

コンパニオンバードにおける性格関連遺伝子の解析

13

● 古谷明梨 1, 2・柳原真 1・藤井朋子 1・橘亮輔 1・岡ノ谷一夫 1, 2
1 東京大学大学院・総合文化研究科・広域科学専攻
2 帝京大学・先端総合研究機構・複雑系認知研究部門

鳴禽類の情動音声に対する高次聴覚野の応答



15

●加藤正暉・岩越栄子・古満芽久美・浮穴和義

広島大院・統合生命・神経代謝調節

日照時間の変化がニホンウズラの視床下部分泌性小タンパク質の遺伝子発現に及ぼす影響

17

○中尾暢宏・岩崎真由・渡辺雄貴

日獣大・応用生命

発生を制御されたニワトリ胚の発生再開には Heat Shock Protein 90 が関与する

19

●近藤有希子・奥寄雄也・西島謙一

名古屋大・院・生命農学

SpCas9 を発現する遺伝子組換えニワトリの作製

21

○塚田光・植村武夫・西島謙一

名古屋大・生命農・動物科学

卵質測定器を用いたニワトリの産卵機能に関する研究**PM 口頭発表 13:30～ ポスター発表 15:00～ (予定)**

(● = 若手研究奨励賞選考対象)

2

●谷津田千理 1・高野茉夕 1・島田真優 2・伊澤栄一 2

1 慶応大・院社・心理

2 慶応大・文・心理

群れ飼育下ハシブトガラスのストレス刺激に対する社会行動と HPA 軸短期応答との関係

4

●若槻萌映 1・瀬口瑛子 1, 2・伊澤栄一 1

1 慶応大・文・心理

2 慶応大・先導研究センター

ハシブトガラスのオス間親和関係の形成に伴う心拍変動の変化に関する検討

6

●阿部有里香 1・森千紘 2・博多屋汐美 3・古谷明梨 3・岡ノ谷一夫 3・Cheng-Te Yao 4・Pin-Chi Tang 5・Chih-Feng Chen 5・戸張靖子 1, 6

- 1 麻布大・獣医・動物応用
- 2 帝京大・薬・生命薬学
- 3 帝京大・先端総合研究機構
- 4 特有生物研究保育センター
- 5 台湾国立中興大学
- 6 麻布大・ヒトと動物の共生科学センター

キンパラ属の性判定に使用できるPCRプライマーの選定

8

●川田明香里 1・矢野優太郎 2・白石純一 3・戸張靖子 1, 4

- 1 麻布大・獣医・動物応用科学
- 2 麻布大・獣医・獣医
- 3 日本獣医生命科学大・応用生命科学・動物科学
- 4 麻布大・ヒトと動物の共生科学センター

キンカチョウの身体的成長と歌の上達

10

●新里琉美 1・武山実椰 1・濱崎堇 1・博多屋汐美 2・森千紘 3・古谷明里 2・岡ノ谷一夫 2・CT Yao 4・香川紘子 1・戸張靖子 1, 5

- 1 麻布大・獣医・動物応用
- 2 帝京大・先端総合研究機構
- 3 帝京大・薬・生命薬学

野生コシジロキンパラの歌の複雑さは体サイズを反映する

12

●和田京介 1, 2・隈元拓馬 1・丸山千秋 1

- 1 東京都医学総合研究所・脳神経回路形成プロジェクト
- 2 新潟大学大学院・医歯学総合研究科・医科学専攻

鳥類と哺乳類の神経細胞移動の比較解析から、大脳進化のメカニズムを考察する

14

●片山涼香 1, 2・隈元拓馬 2・丸山千秋 2・花嶋かりな 1, 3

- 1 早稲田大・先進理工研・生命理工
- 2 東京都医学総合研究所・脳神経回路形成プロジェクト
- 3 早稲田大・教育・理

鳥類大脳における感覚入力細胞産生メカニズムの解析



16

○隈元拓馬・丸山千秋
東京都医学総合研究所・脳神経回路形成プロジェクト
発生期のニワトリ大脳におけるグリア細胞発現様式

18

○水島秀成・小川湧也・黒岩麻里
北大・院・理学
オスウズラの生殖細胞分化に与えるジエチルスチルベストロールの影響

20

●光藤真白 1・寺田拓実 2・梶原亮太 2・渡邊天海 2・江崎僚 2・松崎芽衣 2・堀内浩幸 2
1 広島大学 生物生産学部
2 広島大学 大学院統合生命科学研究科
E-cadherin はニワトリ精原細胞のマーカーとして利用できる

22

○西島謙一・塚田光・奥寄雄也
名古屋大・院・生命農学
NBRP ニワトリ・ウズラ - 研究を推進するリソース





会場内での録音録画禁止に
ご協力をお願いいたします。



第47回鳥類内分泌研究会事務局
岩澤 淳（岐阜大）
西島謙一・村井篤嗣・奥寄雄也（名古屋大）